

# DREAM



～ 拓け 未来を！ ～

令和2年7月1日  
日光市立大沢中学校  
進路だより  
第3号

## 私立高校について

### 1 学科(コース)の特徴

- (1) 大学進学をめざし、受験勉強に力を入れるための学科(コース)
    - ・作新(英進部)、宇短附(普通科特別選抜・特進コース)、文星芸附(英進科)、文星女子(秀英特進科)、國柝(普通科特別選抜・選抜コース)、海星女子(普通科特別選抜コース)など
  - (2) 標準的なカリキュラムの学科(コース)  
(1年次は普通科に近いが、2年次からコース別。進学または就職を視野に専門的な学習を進める)
    - ・作新(総合進学部)、宇短附(普通科進学・応用文理コース)、文星芸附(普通科)、文星女子(普通科)、國柝(普通科文理コース)、海星女子(普通科進学コース)、矢板中央(普通科)など
  - (3) 専門的学習を重視した学科(コース)
    - ・商業系…作新(商業弘科)、宇短附(情報商業科)、文星芸附(総合ビジネス科)、文星女子(総合ビジネス科)など
    - ・生活系…作新(ライフデザイン科)、宇短附(生活教養科)など
    - ・情報系…文星女子(総合ビジネス科ITマスターコース)など
    - ・工業系…作新(電気電子システム科、自動車整備士養成科)など
    - ・美術系…作新(美術デザイン科)、文星芸附(普通科美術デザインコース)、文星女子(秀英特進科美術デザインコース)など
    - ・その他…矢板中央(スポーツ科)、宇短附(音楽科、調理科)、文星女子(秀英特進科英語留学コース)、作新(情報科学部普通科総合選択コース)、文星芸附(普通科総合コース)など
- ※同じように見える学科・コースでも学校によって学習内容に違いがあるので、パンフレットやホームページでよく確認することが必要。

### 2 入試の特徴

- (1) 単願、併願の区別について
  - ①単願…その学校(学科)を第1志望とし、「合格したら、その学校に必ず入学する」と約束して受験する方法。
    - ・単願は併願より有利に合格判定される(例：入試得点にプラス10～15点される、など)が、必ず合格するとは限らない。
    - ・推薦やスポーツなどの特待生は基本的に単願扱い。
    - ・転科合格を単願扱いする場合とそうでない場合がある。
    - ・試験日程により、単願受験ができる場合とできない場合があるので注意。
  - ②併願…他に第1志望の学校(県立高校など)があり、「合格しても他の学校や学科を受験し、そちらに進学する可能性がある」と伝えて受験する方法。
    - ・併願合格でも、期限内に入学手続金(1万円程度)を納入しないと入学資格がなくなる。
- (2) 試験日程と試験科目について
  - ・各高校とも複数回入試を実施するが、第1回入試を受験する生徒がほとんど。  
→募集定員が第1回の方が多く、また再受験で受験料が減額または免除される学校が多いため。
  - 不合格の場合やランクアップを狙う場合、第2回入試を再受験できる。
  - ・複数の高校を受験する場合、試験日が続いたり、重なる場合があるので注意。
  - ・同じ学校でも、受験日によって試験科目や面接の有無など、異なる場合がある。  
→3教科受験がよいか、5教科受験がよいか、面接はあったほうがよいかなど、自分に合った方法を考えて受験する方法を選ぶことが大切。
- (3) 特待生(学力・スポーツ・文化)、奨学生制度について
  - ・学力特待生や奨学生制度…入試の成績によって授業料や入学金が免除・減額される
  - ・スポーツ特待、文化特待(単願扱い)…部活動や校外活動の実績により、授業料や入学金が免除・減額される
- (4) 難易度、転科(スライド)合格制度について
  - ・同じような学科でも高校によって難易度が異なる。また、同じ高校の中でも学科(コース)によって入試問題が異なる場合がある。  
→自分の実力と照らし合わせて、受験校を考える必要がある。  
→実際に過去問題などを解いて、その高校の入試傾向を知っておくことが大切。
  - ・転科(スライド)合格…第1希望の学科では不合格でも、別の学科(コース)で合格できる制度(高校によって転科・スライド制度は異なるので、よく確認が必要)